

## 令和4年度 第2回練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議要録

- 1 日時 令和5年3月10日(金) 午後3時~4時10分
- 2 場所 生涯学習センター 第一教室
- 3 出席者 川井委員、岡本委員、長田委員、井藤委員、長富委員、田村委員  
鈴木委員、山本委員、押田委員  
(練馬区)文化・生涯学習課長、美術館再整備担当課長  
(事務局)生涯学習センター所長、副所長
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
  - (1) 挨拶
  - (2) 議題
    - 令和4年度事業結果報告について(途中報告)
    - 令和4年度施設利用状況について(途中報告)
    - 令和5年度事業計画について
  - (3) その他
- 7 配布資料
  - 資料1 令和4年度 事業結果報告(令和5年度1月事業実施分まで)
  - 資料2 - 1、2 - 2、2 - 3、2 - 4  
生涯学習センター・分館施設利用状況(利用率、人数、件数)
  - 資料3 - 1、3 - 2  
生涯学習センター・分館利用者アンケート結果
  - 資料4 令和5年度事業計画

### 8 会議の概要

<座長> 議事に入る前に、本日の出席委員数の報告を事務局からお願いします。

<副所長> 本日の出席委員数は9名全員出席です。傍聴はありません。

(1) 挨拶

文化・生涯学習課長 渡辺 洋

(2) 議題

令和4年度事業結果報告

令和4年度施設利用状況

所長から資料1・2-1・2-2・2-3・2-4・3-1・3-2に基づき説明(内容省略)

<座長> アンケート集計により、利用者の意見反映にも努力していただきました。皆さんからご意見、ご質問いただきたいと思います。

<委員> 今、分館にワクチン配送センターが設けられ一部の部屋が使えません。これからの予定、見込みはどうなっていますか。

<所長> 予定としては、令和5年度いっぱい今年度と同じ状態を維持します。返還の見込みは未定です。

<委員> 講座室8・9は使い勝手が良いです。早期返還の希望があることを担当課に伝えてほしいです。

<委員> 今年はコロナ明け元年とも言われます。今年の利用率は、コロナ前と比べると7割くらいの率になるのでしょうか。

<所長> 利用率は、ほぼコロナ前の数字になります。

<委員> それは良かったですね。安心しました。

<委員> 青少年館もかなり利用者が戻ってきています。人気のある部屋は抽選となり、取りにくくなっています。今はまだ、館内での大人数の飲食は禁止です。これも解禁になれば、調理実習室なども利用率が回復すると期待しています。

<委員> 抽選に関してですが、今は、利用日の2か月前に抽選となり、結果が分かるのが20日です。その時点で落選となると、利用希望日のほぼ1か月前となり、他の施設も取りにくくなります。1か月早めて、3か月前の

抽選となると使い勝手がよいか、と思っています。

<委員> コロナが早く終息することを願っています。今年の盆踊り講習会の頃には完全に元に戻っていただければよいと思っています。

<委員> 春秋の区民文化祭に関しては、区で会場確保などに協力を頂いています。感謝しています。個人的な催しでは、先日私も抽選に外れてしまいました。もう少し会場が取りやすくなればよいと思います。

<委員> 住んでいる文京区、勤務先の港区、いずれも人が戻ってきているのを感じます。人が街に出始めています。今は、催し物、施設の宣伝をする絶好の機会だと感じます。来てくれる人が増えると思います。

<座長> 各種講座へは多くの人に参加してくれるが、サークル、団体に残ってくれる人は少ないです。こういった人たちを取り込んでいくことを、指導する側も区も考えなくてはいけないと思います。

発表の場があるのはありがたいことです。他の区では、無くなっていった所もあります。我々も生涯学習センターという場をもっと発信していきたいと思っています。私は区民文化祭のほかに公募展の活動も行い、区民に無料で発表の場を提供しています。応募も多く、区民の中に埋もれたアーティストがいると思います。区の協力も重要でみんなで一体となって盛り上げていきたいです。

<委員> 私は先日縁ジョイ倶楽部を担当しました。20人以上の応募がありました。「くみんのひろば」に募集を出した時は0人でした。生涯学習センターのパワーを感じました。

縁ジョイ倶楽部は、開始して5年で、今年は11講座が開設されました。大きな進歩だと思います。個人的には20講座を目指してほしいと思います。いろいろやりたい人がいるんだという事です。先日の倶楽部では、12人の参加で2名が同好会に参加しました。残りの10名もアンケートを見ると、自分で楽しんでいきたいと書いています。このような広がりを続けていきたいと思っています。縁ジョイ倶楽部をやろうとするグループを増やしていくことが大切だと、今、感じています。

<座長> 昔は20~30講座あった時期もありました。残ってくれる人は少なくても、少しでも拾っていかこうとする姿勢をこちらでも示していきたいと

思います。

令和5年度事業計画

所長から資料4に基づき説明（内容省略）

(3) その他

練馬区立美術館および練馬区立貫井図書館改築等にかかる基本設計委託事業者について

<美術館再整備担当課長> 資料に基づき説明（内容省略）

<座長> 詳しい内容はホームページで見ることができるのですね。

<美術館再整備担当課長> 区のホームページにおいて、「美術館 設計者」で探していただくと出てきます。ぜひご覧ください。

<座長> 素晴らしいものができるかと想像しています。練馬区は「文化」にも力を入れていると感じます。すごく楽しみです。

<美術館再整備担当課長> 今、サンライフ練馬の中に研修室という広い部屋があります。サンライフ練馬は廃止となりますが、この美術館と図書館の中には300平方メートルくらいの広い部屋を作り、生涯学習など様々な活動に使えるようにしていきます。

<座長> 多目的に使える部屋があると、みんなが集えます。この新しい建物は他の自治体からも来ていただけるようになると良いと思います。練馬区から、今、自分たちがやっていることを、文化を発信していけるようで大変楽しみです。

<委員> 説明の中にあつた「富士塚」、というのは面白いコンセプトだと感じました。みんなが集まれるイメージのものができると感じました。

<座長> 練馬は交通の便が少し良くないと感じます。区内の文化を見せる場所をバス路線で繋ぐような工夫、交通網の整備もしてくれるとよいなと感じます。

<委員> 分館の利用率が低いですね。循環バスなどあると使いやすくなる

かもしれません。

ねりま推し2023について

<所長> 資料に基づき説明（内容省略）

<座長> いろいろな催しがあります。皆さんご参加ください。

生涯学習センターの工事について

<所長> 施設開設以来初めて全面屋上防水工事を行いました。雨漏りが改善されました。また、外壁タイル落下防止工事を行いました。今後の工事も計画的に進めていきます。

令和5年度縁ジョイ倶楽部について

<所長> 5年度は講演会と同日に、来場者に対して、サークルの活動内容を見ていただく機会を設け、区民の方に関心を持っていただきたいと考えています。サークルの方にご協力をいただき、活動を紹介していきたいと考えています。

もう1点、サークル活動の様子、展示作品の製作の様子を動画で見ることができるような常設の場を設けることも検討しています。

<座長> 最後に副座長から、お願いします。

<副座長> 先日タクシーに乗ったら、運転手さんが生涯学習センターを知らなかった。センターがいまだに区民に浸透していないことは少し寂しかったです。

コロナが残したもののひとつにテレワークがあると思います。生涯学習センターとして、テレワークしている人たちにいろいろと紹介できる仕組みを作っていければよいと感じます。そのようなネットを使う世代は定年した後、利用するかもしれない。加えてネットを使う世代を通じて親世代に情報が流れるかもしれない。「センターで、練馬区で、いろいろなことをやっているよ。」とアピールしていけたらよいと思います。ネットを使ったマーケティングのターゲットは、40、50代となるが、親世代に情報が流れていくのではないかと考えるようになってきました。

<座長> インターネットを使った繋がり、人同士の対面の繋がり、両方を使いこなして、人の繋がりを広げていきたいと思います。生涯学習センターを繋がりを中心として大事にしたいと思います。そのような繋がりを大切にしながら一歩ずつ進んでいきたいと思います。

<副座長> 今、ふと思いましたが、将来的に、練馬区生涯学習ミュージアムを作るような発想があってもいいのではないかと思いました。人が集まり、コミュニケーションできればよいと思います。

<委員> 今、各区でコミュニティバスが走っていますが、美術館など文化施設だけを結んでいるバスというのは無いですね。

<文化・生涯学習課長> 補足させてください。今日の話の中で「ねりま推し」がありました。対外的にPRしていくプロジェクトが目白押しであり、練馬の認知度を高めていこうとする取り組みです。その先には、これを契機に練馬全体の賑わいを創出していきたいという狙いがあります。

通常交通ルートの整備としては、鉄道やバス、またそれを補完する練馬区での「みどりバス」など、生活の足を充足する視点になりますが、練馬を訪れた人たちが区内を回れるような区内周遊ツアーの検討を始めたところです。他部署での取り組みですが、来訪者にとって練馬はよいところと感じてもらえるようにしていきたいと考えていることを紹介させていただきました。

<委員> 知人の若者で、山形の農家で1年間働いてみた人がいます。彼はデザイナー志望だったのですが、地元の名産の毛糸を使いセータを販売したところ好評で、販売数、販路を拡大しようとしています。農業なども、うまくSNSに乗っければ、人が来るようなこともあると思います。

練馬にはすごいポテンシャルがあると思います。いろいろなものを探したらまだまだ人を呼び込む可能性があると思います。

<座長> いろいろな意見が出てよかったです。今の練馬には「これ」といったものが無いのかもしれない。そのようなものができればよいですね。

<委員> 私は棋道師範というアマチュア指導者のトップの資格を取りました。東京でも4人しかいない価値の高いものと自負しております。講座などでも協力していきたいと思います。所沢市でも教え始めたところで

す。今後、提案、相談させていただきたいと思います。

<座長> いろいろな社会資源があると思います。うまくまとめ、手を携えることにより「練馬っていいな」という声が広がるとよいと思います。

<委員> 練馬は交通の便がよくなり、横浜方面からも一本で来れるようになりましたね。もっと広い範囲にアピールしてもよいと思います。

<座長> いろいろなアイデアがありますね。今日はどうもありがとうございました。